

よなかふしぎわ
世の中には不思議で分かり
づらいことがたくさんありま
す。自然、科学、歴史など、
詳しい先生に解き明かして
もらいましょう。



もし自然災害が起きたら…？ 防災マップで備えておこう

日本は自然災害が多く発生する国です。地震に津波、洪水、土砂災害、火山の噴火：挙げただけでも多くの自然災害が、実は毎年日本のごくで発生しています。しかし、住んでいる場所によって気をつけなくてはならない自然災害は違います。皆さんが住んでいる山梨県では、どのような自然災害が発生しやすいのでしょうか。

山梨県は四方をやまやまに囲まれます。川があれば、雨がたくさん降ったときに洪水災害が起こることが考えられます。火山があれば、噴火することも考えられます。さらに、山梨県には断層があり、大きな地震が起こる可能性もあります。このように、私たちの生活と自然災害は隣り合っているのです。

ほかに、自分の町の災害の歴史を調べてみる方法もあります。過去に洪水が起こっている場所ならば、今後も起こる可能性があるからです。3月11日に発生した東日本大震災では、岩手県釜石市沿岸部の小中学校9校の児童と生徒ほぼ全員が無事でした。彼らは津波の浸水状況をシミュレーションで確認したり、避難マップを作ったりして学習していたそうです。

過去の被害や心得

山があるというところは地すべりや土砂崩れなどの土砂災害が考えられます。川があれば、雨がたくさん降ったときに洪水災害が起こることが考えられます。火山があれば、噴火することも考えられます。さらに、山梨県には断層があり、大きな地震が起こる可能性もあります。このように、私たちの生活と自然災害は隣り合っているのです。

山があるというところは地すべりや土砂崩れなどの土砂災害が考えられます。川があれば、雨がたくさん降ったときに洪水災害が起こることが考えられます。火山があれば、噴火することも考えられます。さらに、山梨県には断層があり、大きな地震が起こる可能性もあります。このように、私たちの生活と自然災害は隣り合っているのです。

ほかに、自分の町の災害の歴史を調べてみる方法もあります。過去に洪水が起こっている場所ならば、今後も起こる可能性があるからです。3月11日に発生した東日本大震災では、岩手県釜石市沿岸部の小中学校9校の児童と生徒ほぼ全員が無事でした。彼らは津波の浸水状況をシミュレーションで確認したり、避難マップを作ったりして学習していたそうです。

日ごろの意識が大事

このように、自然災害による被害を減らすためには、普段からの防災対策が必要です。しっかりと防災意識を持って、ハザードマップを確認して対策を立てたり、自分の町の災害の歴史を調べたりしておきましょう。

このように、自然災害による被害を減らすためには、普段からの防災対策が必要です。しっかりと防災意識を持って、ハザードマップを確認して対策を立てたり、自分の町の災害の歴史を調べたりしておきましょう。

このように、自然災害による被害を減らすためには、普段からの防災対策が必要です。しっかりと防災意識を持って、ハザードマップを確認して対策を立てたり、自分の町の災害の歴史を調べたりしておきましょう。

甲府市北東部の洪水ハザードマップ



この中には、避難の心得から持ち物リスト、どのように情報が自分たちに伝えられるのか、自ら情報を手に入れるにはどうしたらいいのか、避難場所はどこか、など必要

（山梨大学大学院医学工学総合研究部国際流域環境研究センター 稲垣意地子）